

政策立案コンテスト 政策提言書

CARP 名
お茶の水女子大学 CARP
政策タイトル
ちびっこ先生の 1 日出張授業
理想の国家・社会像
子供や若者が家庭をもつことに希望をもつことができる社会をつくること
解決したい問題と、その根本的な原因
近年、若者の間で結婚や子育てに対して否定的なイメージを持っている人が多いことを肌で感じ、問題視している。この原因は、メディアによる離婚や不倫などの家庭を軽視する報道にあると考えられる。学校において家族の価値を感じさせるような授業は十分に行われていないため、子供達は子育てや家族について漠然としたマイナスイメージを払拭できない場合が多い。
政策案（比較案があれば併記）
<p>中学生が乳幼児とふれあう体験授業を用意する。これはすでに行われている事例もあるが、家庭科の先生の負担が大きいという問題点があり、全国的に広がってはいない。そこで、行政が主体となってふれあう体験の場を提供する政策を考えた。</p> <p>家庭科の授業の一環として行う。日時や場所などの企画は行政と学校が連携して進め、各市町村が養成している、地域住民で構成されたボランティアである子育てサポーターに宣伝や当日の場の運営を手伝ってもらう。参加する親子もボランティアで参加してもらう。</p> <p>生徒たちには学校で事前教育と事後教育を施し、体験で感じた内容を深めてもらう。</p> <p>なお生徒たちがふれあう対象が赤ちゃんの場合は、事前教育として赤ちゃんの抱き方などを学び、当日も地域の保健師や助産師の協力を得て、生徒たちが赤ちゃんとおふれあうのを見守る。</p>